

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果検証シート

公開型GISを活用した行政情報発信による市民サービス向上【事業期間:令和5年度】

(1)事業内容

八尾市が保有する都市計画情報等を活用し、最新の地形図に修正し、公開型GISの構築を行い、市民、事業者及び市外からの来訪者に対し、市内における各種地図情報を的確かつ迅速に提供することで市民サービスの向上と業務の効率化、高度化を図る。

要素事業	取り組みの概要(実績ベース)	今後の方針等
公開型GISシステムの構築	【実績額:5,554,000円】 関係部局と連携し、令和6年3月1日より、公開型GISを運用開始した。	更なる市民サービス向上を図るため、引き続き、公開情報の拡大を検討する。
都市計画図修正	【実績額:19,746,000円】 令和3年1月1日時点の航空写真を基に、八尾市の地形図更新を実施した。	エリア分けを行い、概ね5年ごとに予察を実施し、修正箇所を検討する。

(2)重要業績評価指標(KPI)

■ 公開型GISのアクセス件数(件)

	事業前(R4)	R5	R6	R7
目標	—	1,000	22,500	25,000
実績	—	7,389		

KPIの推移に対する分析

公開型GIS導入に関する周知が広く行き届いた結果、目標値を大幅に上回る実績値となった。市民サービス向上を図るため、引き続き周知を行う。

■ 公開型GISの情報発信レイヤ数(延べ数)

	事業前(R4)	R5	R6	R7
目標	—	10	11	12
実績	—	21		

KPIの推移に対する分析

関係部局と連携し、目標値を大幅に上回る実績値となった。引き続き、市民サービス向上を図るため、関係部局との協議を継続する。

■ 都市計画業務における窓口対応件数(人)

	事業前(R4)	R5	R6	R7
目標	—	7,000	4,500	2,000
実績	—	6,708		

KPIの推移に対する分析

令和5年度については、導入前の実績を記載。(R6.3に導入したため、窓口対応件数は令和6年度に集計予定)

■ 公開型GISに関する利用者満足度(%)

	事業前(R4)	R5	R6	R7
目標	—	50	60	70
実績	—	100		

KPIの推移に対する分析

ホームページ上でのアンケートでは、公開型GISが「役に立った」という回答が100%であったが、回答者数が少ない事が課題となった。令和6年度以降は、公開型GIS上でのアンケートを実施する。

地図情報サービス
やおデジマップ

地図から探す